

SDGs未来都市・横浜の実現に向けて

「環境未来都市」から「SDGs未来都市」へ

2011年に環境未来都市※1に選定された横浜市は、環境への負荷を抑えながら経済的にも発展し、市民生活の質を向上させるまちづくりを積極的に進めてきました。2018年には、「SDGs未来都市※2」に選定され、375万人が暮らし、12万の事業所を持つ大都市として、世界基準の目標達成に向けた取り組みによる環境・経済・社会的課題の統合的解決にチャレンジしています。

※1環境未来都市とは

環境、社会、経済の3つの観点から「誰もが暮らしたいまち」「誰もが活力あるまち」の実現を目指す、先進的プロジェクトに取り組んで都市・地域。2011年に11の都市・地域が選定されています。

※2SDGs未来都市とは

政府は地方自治体によるSDGsの達成に向けた取り組みを推進するため、2018年からSDGs未来都市を公募しており、2025までに215都市が選定されています。

「横浜SDGs探究学習ガイド」作成の目的

「SDGs未来都市・横浜」の実現を目指し、横浜市はSDGsに取り組む企業・団体と連携する組織としてヨコハマSDGsデザインセンターを設立しました。横浜市のこの取り組みは、SDGs未来都市の中でも特に先進的な取り組みとして国から選定され、「自治体SDGsモデル事業」として進めているものです。このガイドは、SDGsの「学び」の観点から、横浜でSDGsに取り組む企業・団体と学び手を結ぶ入り口になることをねらいとしています。



皆さんの取り組みを連携させ、課題解決につなげます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

探究的な学びでSDGsを理解する

SDGsの学習には、「探究学習」の手法が役に立ちます。自ら学習のテーマを設定し考え、体験で得た知識を参考にさらに考察を深めることで、将来の行動へとつなげていくという学習フローです。このガイドにはSDGsの目標達成に向け取り組む、様々な企業・団体が掲載されています。その現場を体験し、自分ごととして考える機会にしましょう。





学習・体験のステップ



旅マエ

旅ナカ

旅アト

STEP
1

SDGsについて考えよう

SDGsについての知識を再確認してみよう

- 1 SDGsについて知っていることを書いてみよう
- 2 周りのメンバーと共有してみよう

STEP
2

相手を知ろう

訪問企業の情報や取り組みについて、まずは自分で調べてみよう

- 1 その企業の歴史、どんな事業を行っているのか
- 2 訪問先の企業が取り組んでいるSDGsの内容について
- 3 他企業ではどんな取り組みをしているのか
- 4 その取り組みは社会にどのように貢献しているのか

STEP
3

調べた情報を整理しよう

調べてみて興味が湧いたことを可視化して、意見を整理しよう

- 1 訪問先企業について気づいたことをまとめよう
- 2 企業訪問時に聞いてみたいことをまとめよう

この本の使い方

教育旅行は、実施前(旅マエ)、旅行中(旅ナカ)、実施後(旅アト)に分けられます。教育旅行中の体験をより充実したものにするために、STEP1~STEP6の探究学習のながれを踏まえて、ご計画ください。

STEP
4

調査して 情報を集めよう

現地でしか得られない情報を見つけ、記録に残そう

- 1 企業の話や体験を通じて、気づいたこと、疑問に残ったことをまとめよう

STEP
5

集めた情報を 整理しよう

現地で収集した情報を整理して発表の準備をしよう

- 1 自分たちで収集した情報を整理しよう
- 2 最終発表の準備をしよう

STEP
6

アウトプット しよう

今までに学んできたことをまとめみんなに共有しよう

- 1 発表しよう
- 2 SDGsアクション宣言をしよう



POINT!

グループで話し合うことで、訪問先のイメージはふくらみます。友だちと話すことは、自分の考えを整理したり、新しい発見をしたりすることにつながります。

